

吹田民主商工会 いんぷお め~しよん

全商連主催 地方別活動交流会について

4月20日・21日に全商連が地方別活動交流会を開催しました。吹田民商からは山口会長・桑島副会長・工藤副会長・土井副会長・西尾事務局長が参加しています。山口会長と桑島副会長から報告をいただきました。

山口会長

事務局問題が分散会で話題になりました。会員減、財政難による一人事務局や二人事務局の民商が増えています。ある民商では、一人しか居ない事務局が辞めて急きよ募集し、その時の条件が朝9時から夕方6時までの就業時間で土、日、祭日は休み、但し申告期だけは日曜出勤有りと言うもので、事務局員のサラリーマン化や、若い事務局員とベテラン役員との関係等いろいろ出ましたが、それらの元凶になっているのが会員減です。退会者を一人でも減らし、拡大に力を注がないと他人事ではなくなると危機感を抱いて帰ってきました。この危機感を全会員で共有したいと思います。

桑島副会長

初日の山家悠紀雄夫さんの記念講演は、5%の増税で物価は3.5%上がる。増税をするなら消費税ではなく、負担能力のあるところ、所得税にも増税の余地がある。アベノミクスについて、銀行にお金を供給しても借り手がなければ投機に向かう、公共事業の拡大は後に借金を残し更なる消費税増税への布石、成長戦略は小泉改革のやり残し、格差はさらに拡大。TPP参加では日本の主張が交渉次第

故郷の宮崎の仲間が集まって、

話ができるお店を作りた

あい川支部「物産店ふるさと宮崎」の老岐さんは、宮崎県の食材を使った料理と地酒の提供と、宮崎県を含めた九州の物産品を食品中心に販売しています。

普段の店を切り盛りしている老岐さんは大阪出身です。お店を始めたきっかけは、宮崎出身の旦那さんのお姉さんが新大阪で経営している宮崎の物産店を、自分たちでも吹田でやってみようと思いついたことでした。「故郷の宮崎の仲間が集まって、話ができるお店を作りた。」との旦那さんの思いから、物産品の販売に加えて飲食業もお店で行うことにしました。その思いが通じたのか、開業した当初は友人や知人を招いていましたが、徐々に宮崎を含め九州出身のお客さんが来られるようになりました。老岐さんの奥さんは子育て真っ最中で、火曜日から土曜日の朝9時30分から夕方6時まで、夜の営業は、金曜日と土曜日の二日だけに行っています。それが意外な



吹田市川園町20-1
TEL (06) 693333-2211
FAX (06) 693322-81190
http://www.suita-minsyou.com
suita-ms@jamine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

で可能としています。すでに参加している所へ参入する日本のためにルールを作り直すなど考えられない。結局丸飲みしかない。など大変わかりやすい講演でした。分散会では事前通知なしに反面調査の強行や国保では減免申請をしたのち確定申告後にしか減免できない状況、事務局体制、役員づくりについての報告がありました。私は資料の商工新聞に吹田の夜オリの記事があることもあり、経営交流会でのお店、工場訪問の報告と事業計画の取り組みなど経営に力をいれる吹田民商を紹介しました。

全国地方別活動交流会に連帯して

商工新聞読者拡大で目標達成

全国活動交流会に向けて、吹田民商でも読者拡大行動を続けていきました。拡大行動集中日として4月17日、あい川支部、吹南支部、江坂東支部役員が行動。元会員・商店街を訪問して知り合いの不動産業者の方に商工新聞購読を約束。NT支部 橋詰さんは行きつけの理容店に商工新聞読者になってもらいました。多くの役員さんが知り合い



に電話で夜遅くまで奮闘し、見事に読者30名の拡大目標を達成することができました。全商連懸賞基準を商工新聞拡大で達成したとして、丸亀うちわを受け取ることができました。

効果になり、週二日だけなので、故郷の知っている仲間の誰かにその二日なら会えらるとお客さんの評判になっています。お昼のランチ営業では「チキン南蛮定食」と「炭火焼鶏丼」が好評です。いずれもこだわって宮崎地鶏を使っています。

商品の仕入れにも気を配り、郷土の食材は宮崎に帰郷した際、旦那さん自身が試食して、気に入ったものだけを仕入れていきます。お客さんは故郷を懐かしむ年配の方が多いそうです。地元九州の醤油にこだわる人が、大阪で手に入るからと、わざわざ買いに来られる方もおられます。物産品は「たまり醤油」だけでなく「ゆず胡椒」や日向夏（宮崎産柑橘類）の紅茶などもよく売れています。後味すっきり

甘さ控えめの日向夏のジュースもお勧めだそうです。開業してから今年の5月21日に3周年を迎えます。老岐さんは3周年を振り返り、自分も楽しんであつていう間に時間が経ったと語ります。いま計画していることでは、日本一に2年連続で輝いた宮崎牛を使ったステーキをランチで提供したいと語られていました。

お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民とともいー